ご使用前に必ずお読み下さい。

つめかえインク取扱説明書

INK-7S30SE4、INK-79S30SE5共通

eco・INK

対応カートリッジ

キャノン	BCI-9BK BCI-7eBK 7BK 7eC 7C 7eM 7M 7eY 7Y 7ePC 7PC 7ePM 7PM

注意

- ■インクカートリッジの種類により適応するインクが異なります。
  対応カートリッジをご確認の上ご使用下さい。
- ■同色のインクカートリッジを使用する場合は必ず印などをつけて判別できるようにしてください。
- ■インクは身体及び衣類等に付着するとすぐには消えません。取扱にご注意下さい。
- ■ご使用の前に注意事項を必ずお読み下さい。
- ■同シリーズ以外のつめかえインクを使用したカートリッジには対応していません。

インク成分

●INK-7S30SE4

・ブラック…[蒸留水]70%～80%・[グリコール・イソプロピルアルコールなど]1%～10%・[染料]1%～15%
・シアン…[蒸留水]70%～80%・[グリコール・イソプロピルアルコールなど]1%～10%・[染料]1%～15%
・マゼンタ…[蒸留水]60%～70%・[グリコール・イソプロピルアルコール]1%～15%・[染料]15%～25%
・イエロー…[蒸留水]70%～80%・[グリコール・イソプロピルアルコールなど]1%～10%・[染料]1%～15%

●INK-79S30SE5

・ブラック…[蒸留水]70%～80%・[グリコール・イソプロピルアルコールなど]1%～10%・[染料]1%～15%
・シアン…[蒸留水]70%～80%・[グリコール・イソプロピルアルコールなど]1%～10%・[染料]1%～15%
・マゼンタ…[蒸留水]60%～70%・[グリコール・イソプロピルアルコールなど]1%～15%・[染料]15%～25%
・イエロー…[蒸留水]70%～80%・[グリコール・イソプロピルアルコールなど]1%～10%・[染料]1%～15%
・ブラック(顔料)…[蒸留水]50%～60%・[グリコール]20%～30%・[その他顔料など]5%～10%

安全上の注意 ⚠

次の注意事項は、つめかえる時の危害や損傷を未然に防ぎ、つめかえインクセットを正しく安全にお使い頂くためのものです。
●つめかえは新聞紙などを敷いて、そのうえで行って下さい。
●つめかえる時にインクがこぼれ、周辺が汚れる事があります。ティッシュペーパーもしくはペーパータオルなどをあらかじめご用意下さい。
●本製品のインクは身体や衣類に付着するとすぐには消えません。ご使用に際しては注入する時の他は、不用意にインクボトルを強く握ったり、逆さまに持たないようにして下さい。インクボトルのノズルの先からインクが飛び出したり、こぼれ落ちて身体や衣類に付着しないように注意して下さい。

注意 ⚠

●子供の手の届く所に置かないで下さい。
●飲むことはできません。誤って飲んでしまった場合には、医者の診断を受けて下さい。
●目に入ってしまった場合には、すぐに水で洗い流して下さい。
●カートリッジをプリンタから取り外したり、取り付けたりする時には、プリンタの取扱説明書の指示に従って下さい。
●インクは開封後1年以内にご使用下さい。

保管

つめかえした後の残ったインクは、ゴムキャップをしっかりして、直射日光の当たるところ及び、高温多湿の場所は避け、涼しい所で保管して下さい。インクの漏れを防ぐために容器は立てて保管して下さい。
■本製品のカラーインクは当社オリジナルインクを使用しています。
●本製品はキヤノン(株)とは無関係で承認を受けたものではありません。
●商品仕様は諸般の事情により予告なく変更することもありますので、あらかじめご了承ください。
●記載されている会社名・商品名は、一般には各社の商標または登録商標です。
●万一当社の製品上の原因による品質不良がありました場合には、同数の新しい製品と取り替えいたします。それ以外の責はご容赦願います。
●改良のため予告なく外観、仕様を変更する場合があります。

セット内容

数量はパッケージをご覧ください。

このパッケージの中には以下のものが含まれています。もし、不足しているものや、損傷などがありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。

①インクボトル

インク面の高さについて

ボトルのインク液面の高さに差がある場合があります。これはボトルの内容積の差によるもので、インクの量はパッケージに表示してある容量が充填されています。

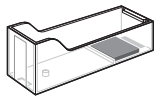
INK-7S30SE4

※ブラック	30ml	1本
※シアン	30ml	1本
※マゼンタ	30ml	1本
※イエロー	30ml	1本

INK-79S30SE5

※ブラック	30ml	1本
※シアン	30ml	1本
※マゼンタ	30ml	1本
※イエロー	30ml	1本
※顔料ブラック	30ml	1本

②つめかえホルダー　1個

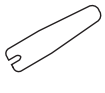


③ポケットドリル　1本

④プラグ

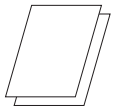
※INK-7S30SE4　4個
※INK-79S30SE5　5個

⑤プライバ　1本



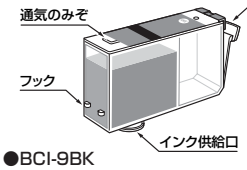
⑥ポリ手袋　1組

⑦取扱説明書　2枚

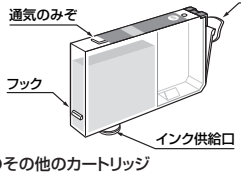


各部の名称

◎インクカートリッジ



●BCI-9BK

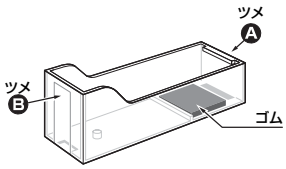


●その他のカートリッジ

純正カートリッジに貼ってあるシールは絶対にはがさないでください。

◎つめかえホルダー

ホルダーはつめかえ作業とカートリッジの一時的な保管用としてお使いになれます。
保管については「ホルダーを保管用として使う方法とお願い」を参照してください。



サンワサプライ株式会社

トラブルシューティング

	症　状	確認事項	処　置
つめかえ作業中	インクの漏れが止まらない。	他社のつめかえを先に行っていませんか?	つめかえ方法や治具の形状が違いますので、回復出来ない場合があります。印刷不良や思わぬ事故などの原因となります。必ず純正品からつめかえて、本書に記載されていること以外は行わないで下さい。
	注入中にインクが漏れてくる。	カートリッジのホルダーへの取り付け方が浮いたり傾いたりしていませんか?	カートリッジのフックと固定用つまみがホルダーのつめに固定されているか、カートリッジ本体が傾いたり、斜めになったりしていないか確認して、まっすぐカチッと音がするまで付け直してください。(手順1)
		インク供給口がホルダーのゴムに全面密着していますか?	
	プラグをした後にインクが漏れている。	インク供給口からインクが漏れていませんか?	プラグの差し込み方を確認してください。カートリッジをホルダーに付け直して、再度差し込み直してください。(手順5)
			余分なインクが残っている可能性があります。カートリッジをペーパータオルなどの上に置いて、再度インクを除いてください。(手順6)
印刷の時	つめかえた色のインクが出ない。	カートリッジが正常に取り付けられているか確認してください。	カートリッジが浮き上がった状態ではインクが供給できません。固定用つまみがカチッと音がするまで入れ直してください。
		インク供給口からインクが漏れていませんか?	余分なインクが残っているかインクの入れ過ぎの可能性があります。(手順6)の余分なインクを除く作業を再度行ってください。
	印刷にかすれやスジが入る。または、途中で途切れる。	カートリッジを確認してください。	互換カートリッジや再生インクカートリッジを使用していませんか。純製品以外には対応しておりません。
		長期間使用していない。または、外してあったカートリッジではありませんか?	インク供給口や空気のミゾをカバーしないで放置されたカートリッジをつめかえても、残っていたインクの乾燥や劣化により正常な印刷ができない可能性があります。つめかえる前に必ず印字できるか確認してください。
		他社のインクと併用していませんか?	純正互換インクなので、併用した場合インクのかすれや出なくなるおそれがあります。
		つめかえ回数を確認してください。	つめかえ回数が多くなると(3回までが目安)カートリッジのフェルトの中に空気の泡が発生し、インクの流れが悪くなり、かすれや途切れやすくなります。新しいカートリッジに交換をお勧めします。
	色合いがおかしい。	ノズルチェックをして、出力した色を確認。	当社オリジナルインクを使用しており、同等の品質を実現させていますが、若干の色の差異が生じる場合があります。
		カートリッジの取り付けを確認してください。	つめかえたカートリッジが正しい色の所に戻されているか見て、入れ直してください。
		カートリッジの色とつめかえた色とが合っていましたか?	シアンとフォトシアン、マゼンタとフォトマゼンタなど、よく似た色をつめかえてしまう場合があります。このような場合はいったんインクを全部抜いて、本来の色のインクを入れ直し正常な色になるまで印刷する必要があります。
		他の色のカートリッジで使ったホルダーを使用し、インク供給口の色が変わっていませんか?	インク供給口のフィルターに本来の色が出るまでティッシュペーパーなどを押し当てて下さい。変わった色が消えれば使用できます。
		他社のつめかえを先に行っていませんか?	併用した場合、色が変わる恐れがあります。必ず、純正品からつめかえてください。
		用紙のインクが乾いていますか?	用紙により差がありますが、インクは印刷してから乾くまで時間がかかり、その間、色合いは変化して行きます。少なくとも30分以上経過してから確認してください。
		用紙や設定が変わっていませんか?	用紙が変わると色合いが違って印刷されます。同じ用紙と設定にしてください。
ホルダー	ホルダーに付けていたらインクが漏れてきた。	カートリッジのホルダーへの取り付け方が浮いたり傾いたりしていませんか?	インク供給口全体がホルダーのゴムに密着していなかったり、外れていたりするとインクの漏れや乾燥の原因となります。まっすぐカチッと音がするまで付け直してください。(手順1)
	長い間保管していたらインクが漏れてきたり、印刷ができなくなったりした。	長期間の保管用ではありません。ホルダーへの取り付け方とカートリッジの定期確認をしてください。	カートリッジはホルダーをしていても、長期間使用されていないと、自然にインクの乾燥や供給口の目詰まりを起こす場合があります。保管中は定期的(10日に1度程度)にカートリッジをお使いになり、印刷ができるか確認することをお勧めします。
印刷の続行と残量検知機能解除操作について	残量検知機能解除操作が必要なプリンタかどうか、わからない。	プリンタの機種が2005モデルか2006/2007モデルか、確認して下さい。	2006/2007モデルは、BCI-9BKまたはBCI-7eシリーズのインクカートリッジを取り付けて、LED(発光ダイオード)が赤く点灯するプリンタで、残量検知機能解除の操作が必要です。点灯しないプリンタは2005モデルですのでこの操作は必要なく、そのままつめかえたカートリッジを取り付けて印刷できます。
	残量検知機能解除の画面表示が現れない。	つめかえたカートリッジを取り付けた後は、しばらくは解除の画面表示は現れません。印刷が可能です。	解除の画面表示が現れるタイミングはお使いの状況により異なり、印刷量に比例して多いほど早く現れます。それまでは、つめかえたカートリッジをプリンタに取り付けて、通常通り印刷が実行されれば印刷は継続されます。ただし、インク残量やインク切れはカートリッジや印刷状況を見て注意してください。
インクカートリッジエラーの表示	プリンタ本体のエラーランプが点滅して、プリンタの液晶画面やパソコンモニターにインクカートリッジのエラーが表示される。	エラーランプの点滅回数を確認して下さい。	点滅回数が7回、14回、15回の場合は、該当するインクカートリッジのICチップのエラーによるものです。プリンタの取扱説明書またはサポート情報を参照して対処してください。インクカートリッジにインクをつめかえたこととは関係ありません。
その他のエラー表示	プリンタ本体のエラーランプが点滅して、プリンタの液晶画面やパソコンモニターにエラー内容が表示される。	エラーランプの点滅回数を確認して下さい。	点滅回数が8回の場合は、クリーニングや印刷中に排出される廃インク吸収体が満杯となる表示です。リセットボタンを押すと一時的に解除されます。プリンタの取扱説明書またはサポート情報を参照して対処してください。カートリッジにインクをつめかえたこととは関係ありません。

※つめかえインクを使用したカートリッジを使ったプリンタは、メーカーによっては不正改造に当たると判断される場合があります。不具合が発生した場合まず弊社にご連絡ください。

●つめかえの手順は裏面です。

つめかえの前に必ずお読みください

つめかえインクは純正インクタンクに対応しており、その使用後にご利用いただくためのものです。以下の状態のインクタンクでつめかえをした場合は、サポート対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

1.再生品インクタンク、互換品インクタンク、他社製つめかえインクと併用したものなど。
2.つめかえ回数が取扱説明書に記載の推奨限度回数を超えているインクタンク。
3.他社製つめかえインクや道具・リセッターを使用した後のインクタンク。
4.インクがなくなって長い間使用されず、放置されていたインクタンク。

次のキヤノンプリンタでインクをつめかえてご使用になる時の注意。

PIXUS　iP7500、iP6700D、iP6600D、iP5200R、iP4500、iP4300、iP4200、iP3500、iP3300、iX5000、Pro9000、MP970、MP960、MP950、MP810、MP800、MP610、MP600、MP520、MP510、MP500、MP830※（※下記を参照してください）

上記のBCI-9BKおよびBCI-7eカートリッジ専用プリンタでつめかえインクカートリッジを使って印刷するには、プリンタの「インク残量検知機能を無効にする」という操作が必要です。
同封の「つめかえたインクタンクでの印刷の続行操作とインク残量検知機能の無効操作について」の取扱説明書を参考に行えばインク残量は表示されませんが、印刷は通常通り行えます。

※ファクス機能付き複合機PIXUS MP830でつめかえインクを使用する場合つめかえたカートリッジをプリンタに戻し印刷作業を行うと「インクが少なくなっています ❗」「インクがなくなりました ✕」のメッセージが表示され、プリンタ操作パネルの OK ボタンを押すと通常の印刷は可能となります。ただしこの表示がされている時ファクス受信機能は代行受信となりメモリに保存されますので手動で保存されているファクスを印刷してください。（手動印刷の方法はプリンタの取扱説明書に従ってください）残量検知機能を無効にした後からは受信設定通りに受信した後にファクスが印刷されます。

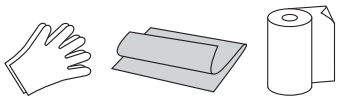
⚠ 注意
- この操作による表示解除はつめかえて使用したカートリッジだけであり、新品カートリッジを取り付けた後は、残量検知機能と残量表示は有効に戻ります。
- インクをつめかえたカートリッジやそれを使用したプリンタは、メーカーによっては不正改造にあたるとみなされる場合があります。使用中にトラブルが発生した時、不明点、ご質問、ご相談はまず弊社にご連絡ください。
- インクカートリッジのコンタクト面を汚したり、触れたりしないようにしてください。

❗ つめかえのポイント

- カートリッジ内のインクがなくならないうちにつめかえを行ってください。インクが切れてしまうとつめかえしてもプリントヘッドのインク供給に時間がかかり、しばらく印字しない場合があります。
- 長期間プリンタをお使いになってない場合、つめかえを行う前に必ず印字できるかどうかご確認ください。また、取り外して放置されていたカートリッジは、インクが正常に出て印刷できるか確認してください。正常でないカートリッジをつめかえても印字不良となります。
- 乾燥しやすい場所では、作業しないでください。プリントヘッドやインクが凝固し故障の原因となる恐れがあります。

準備

- つめかえのときにインクがこぼれて、周辺が汚れることがあります。あらかじめ新聞紙またはペーパータオルなどを用意し、その上で作業を行ってください。
- 手や着衣にインクが着かないよう付属の手袋をつけ、エプロンなどを着用して汚れを防止してください。



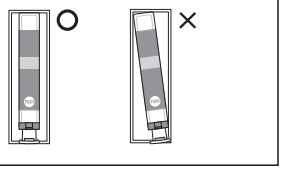
本書に記載されていること以外は行わないでください。印刷不良や思わぬ事故の原因となる場合があります。

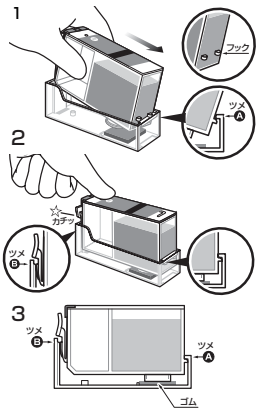
つめかえの手順

1 カートリッジをホルダーに固定する

1.カートリッジの図で示すところにフックがあります。カートリッジをつめかえホルダー（②）に向かって斜めに入れ、フックをホルダーのツメAの下側に差し込むように入れます。
2.カートリッジの PUSH 部分を押して、固定用つまみがツメBに「カチッ」という音がするまで押し込んで固定してください。
3.カートリッジのインク供給口がホルダー底側のゴムに全体が合っていることを確認してください。

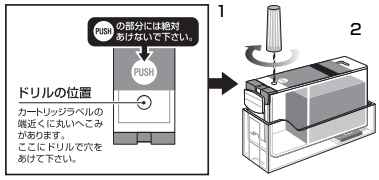
⚠ 注意
カラーカートリッジは斜めに固定されない様にしてください。



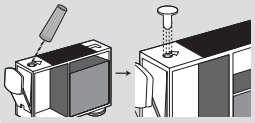


2 カートリッジにインク注入口をあける

1.ドリルで注入口をあける位置を確認します。カートリッジラベルの端近くにある丸いへこみ部分が注入口の位置です。ここにドリルで穴をあけて下さい。
※PUSHと書かれた部分には絶対あけないで下さい。
2.ドリルの先端を丸いへこみに合わせ、垂直に立てて、力を加えながら時計方向に回転させて、まっすぐ穴をあけて注入口とします。



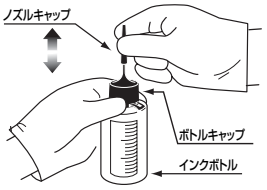
⚠ 注意
斜めに注入口が開いてしまうと口が大きくなり、手順⑤で使用するプラグがしっかりしまらなくなって、インク供給口からインクが漏れる原因となることがあります。



3 インクボトルのゴムキャップをはずす

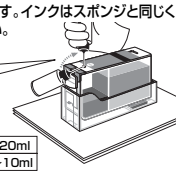
手袋（⑥）を着用します。インクボトルのキャップを取り外したり閉めたりする際は、ノズルの根元をしっかりと押さえながら、垂直方向に動かしてください。

⚠ 注意
インクボトル部分は絶対に押さえないでください。押さえるとインクが飛び出すことがあります。（ゴムキャップを閉める際はノズル先端から1cm程差し込んでください。）



4 インクを注入する

インクボトルのノズル先を水平より上に持って、ドリルで開けた注入口にノズルの先端を合わせます。そのままインクボトルが垂直になるように起こして差し込みます。ボトルをゆっくり絞りながらインクを注入します。インクはスポンジと同じくらいの高さまで注入して下さい。



インク注入量の目安

BCI-9BKの場合	約15～20ml
その他のカートリッジの場合	約　7～10ml

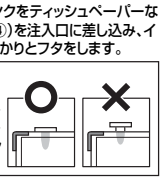
※上記の注入量はインクを使い切ったときの推定量で、お使いの状況やつめかえをするタイミングにより変わります。

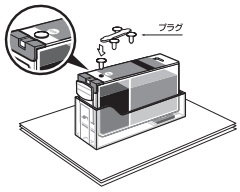
⚠ 注意
ノズルの根元で注入口をふさがないよう、空気の抜けるすき間を確保しておいてください。すきまを確保せずにインクをいれると空気におしだされて供給口や空気の通路からインクがもれてきます。また注入時はもれなくても供給口キャップをはずした後インクがあふれる可能性があります。また空気の通路からインクがもれてくるとプリンタにセットした時にインクが出ない場合があります。

5 注入口にプラグを差し込む

注入口からこぼれたり付着したインクをティッシュペーパーなどで拭き取ります。付属のプラグ（④）を注入口に差し込み、インクが漏れないようにプラグでしっかりとフタをします。

⚠ 注意
注入口にプラグがしっかり差し込まれていないと、インクが供給口から流れ出して止まらない場合があります。しっかりとプラグを差し込んでください。

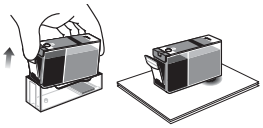




6 カートリッジをホルダーから外し、余分なインクを除く

カートリッジは固定用つまみを押すとホルダーから外れます。ペーパータオルなどの上に10～20秒置いて余分なインクを除いてください。その後、インク供給口からインクが出てこないことを確かめてからプリンタにセットしてください。

⚠ 注意
インクがこぼれた状態でカートリッジをプリンタに装着しないでください。



7 つめかえたあとの印刷続行作業とインク残量検知機能の無効操作

つめかえ手順はBCI-9BK・BCI-7e・BCI-7シリーズ共通ですが、その後は使用プリンタの機種によって作業が分かれます。

2008年モデル	iP4500 / iP3500 / MP970 / MP610 / MP520	**インク残量検知機能無効操作の必要があります。** カートリッジをプリンタに取り付けて「つめかえたインクタンクでの印刷の続行作業とインク残量検知機能の無効操作について」の手順の操作に従ってください。
2007年モデル	iP4300 / iP3300 / iP6700D MP960 / MP600 / MP810 / MP510	
2006年モデル	iP7500 / iP6600D / iP5200R / iX5000 / iP4200 / Pro9000 MP950 / MP830 / MP800 / MP500	
2005年モデル	iP9910 / iP8600 / iP8100 / iP7100 iP6100D / iP4100 / iP4100R / iP3100 MP900 / MP790 / MP770	インク残量検知機能無効操作の必要はありません。カートリッジをプリンタに取り付けて手順⑧の「クリーニングと印字テスト」を行ってください。

8 クリーニングと印字テスト

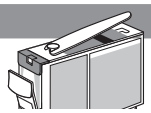
カートリッジをプリンタに取り付け、最初にクリーニングを1回行い、ノズルチェックパターン印刷またはテスト印字をしてください。プリントがよくない場合は、もう一度クリーニングとテストを行ってください。クリーニングとテスト方法はプリンタの取扱説明書を参照してください。
※クリーニングの繰り返しはインクカートリッジの寿命が短くなります。3回までのクリーニングで正常にプリントされない場合はトラブルシューティングを参照してください。

●つめかえ回数

つめかえインクによるカートリッジの再使用は、3～4回までが適当です。それ以上のつめかえは、インク供給に不都合を生じ、正常な印字が出来なくなる場合があります。その際はつめかえたカートリッジの使用を止めて、新しいカートリッジをお使いになることをお勧めします。

●2回目以降のつめかえ

カートリッジをホルダーに取り付けてプラグを外し、③～⑥の手順でつめかえを行ってください。



●つめかえが終わったら

- つめかえた後の残ったインクは、キャップをしっかりと閉め、直射日光の当たるところ及び高温多湿の場所は避け、涼しい所に立てて保管してください。
- ホルダーは付着したインクを水で洗い流して、水分をふき取ってからパッケージに入れて保管してください。

●ホルダーを保管用として使う方法とお願い

- 保管方法　カートリッジをホルダーに取り付けます（手順1.参照）。さらに空気の通路に接着テープを貼りつけて、カートリッジを密閉状態にして保管してください。

⚠ 注意　インク供給口全体がホルダーのゴムに密着していなかったり、外れていたりするとインクの漏れや乾燥の原因となり、保管効果がなくなりますので注意してください。

お願い　長期間の保管用ではありません。カートリッジはホルダーをしていても、長期間使用されていないと自然にインクの乾燥や供給口の目詰まりを起こす場合があります。保管中は定期的（10日に1度程度）にカートリッジをお使いになり、印刷ができるか確認することをお勧めします。

岡山サプライセンター　岡山市田町1-10-1　tel:086-223-3311
東京サプライセンター　東京都品川区南大井6-5-8　tel:03-5763-0011
www.sanwa.co.jp

08/02/FNDaKi

SANWA SUPPLY

つめかえたインクタンクでの印刷の続行作業とインク残量検知機能の無効操作について

ご使用前に必ずお読みください。

インクをつめかえたインクタンクは、プリンタに取り付けた後に**印刷の続行作業**と**インク残量検知機能の無効操作**が必要です。
下記の説明を参考にして操作を行ってください。

ご使用のプリンタにより表示や操作方法が違いますので、下記の表により対応するプリンタの説明と操作へ進んで下さい。

	プリンタ	説明と操作
2006年モデル（2005年10月以降発売）	MP500・MP950・MP830（※1）・MP800	MPシリーズ説明①へ
	iP4200・iP7500・iP6600D・iP5200R・ iX5000・Pro9000	iPシリーズ説明①へ
2007年モデル（2006年10月以降発売）	MP960・MP600・MP810・MP510	MPシリーズ説明②へ
	iP4300・iP3300	iPシリーズ説明②へ
	iP6700D（※2）	iPシリーズ説明①へ
2008年モデル（2007年10月以降発売）	MP970・MP610・MP520	MPシリーズ説明②へ
	iP4500・iP3500	iPシリーズ説明②へ

（※1）ファクシミリの受信印刷について下記注意事項を参照して下さい。（※2）2006年モデル（iP6600D）と同様の操作方法となります。

ファクス機能付き複合機MP830で、つめかえたインクタンクを使用する場合

つめかえたカートリッジをプリンタに戻し印刷作業を行うと「インクが少なくなっています ！」「インクがなくなりました ⊗」のメッセージが表示され、プリンタ操作パネルの OK ボタンを押すと通常の印刷は可能となります。

ただしこの表示がされている時ファクス受信機能は代行受信となりメモリに保存されますので手動で保存されているファクスを印刷してください。（手動印刷の方法はプリンタの取扱説明書に従ってください）残量検知機能を無効にした後からは受信設定通りに受信した後にファクスが印刷されます。

注意

※インク残量検知機能を無効にしたインクタンクは、取り付けた状態ではタンクの赤ランプが消えています。いったん外して、取り付け直したあとは点滅となります。
※インク残量検知機能を無効にした後は表示が出ませんので、インクタンクの実際の量を確認して早めにつめかえてください。
※インク残量検知機能は操作をしたインクタンクだけ無効となり、新品インクタンクに交換すれば再び有効となり動作します。

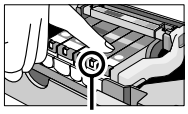
MPシリーズ説明①

MP500・MP950・MP830・MP800

基本的にプリンタ本体の液晶モニターの表示を見て、プリンタ本体のボタンを操作します。

❶つめかえたインクタンクをプリンタに取り付ける

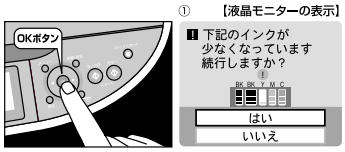
つめかえたインクタンクを取り付けても、赤ランプは点滅したままです。
（インク残量検知機能を無効にするまでは、点滅状態が続きます。）



赤ランプ点滅

❷つめかえた後の印刷続行

①つめかえ後にカートリッジをプリンタに戻し、液晶モニターにこの表示が出たら はい を選択し、プリンタ操作パネルのOKボタンを押せば、印刷が可能となります。
※つめかえ後は、つめかえた実際のインク量と液晶モニターの表示は異なります。インクが無くならないように、早めにインク残量を確認して少なくなったら次のつめかえを行ってください。



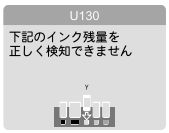
②印刷中または印刷開始前にインクがなくなった表示（U041）が出てエラーランプが点灯した場合は、プリンタ操作パネルのOKボタンを押してください。

①の表示に戻り、印刷が続行または開始されます。

①から②の状況は3回ほど繰り返されます。その後、❸インク残量検知機能エラーが表示されます。

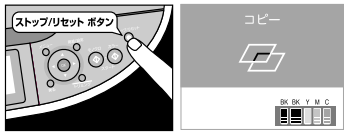
❸インク残量検知機能エラーの表示（U130）

印刷が可能となった後に、液晶モニターに右のようなメッセージ表示とU130のエラー表示が出てエラーランプが点灯したら、次の「❹インク残量検知機能を無効にする操作」を行ってください。
※ファクス付き複合機MP830はこの続行操作の間は代行受信となります。下記の「❹インク残量検知機能を無効にする操作」のあとから受信設定通りに受信したあとに用紙へ印刷されます。



❹インク残量検知機能を無効にする操作

①ストップ/リセットボタンを5秒以上押し続けてください。
②自動的にエラーランプが消え、表示されたインクタンクのインク残量検知機能が無効となります。
③操作を行ったインクタンクの残量が表示されなくなります。



※キヤノンMP500でBCI-7eYを使用時の操作例です。

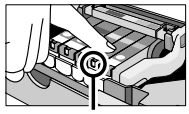
MPシリーズ説明②

MP970・MP960・MP610・MP600・MP810・MP520・MP510

基本的にプリンタ本体の液晶モニターの表示を見て、プリンタ本体のボタンを操作します。

❶つめかえたインクタンクをプリンタに取り付ける

つめかえたインクタンクを取り付けても、赤ランプは点滅したままです。
（インク残量検知機能を無効にするまでは、点滅状態が続きます。）



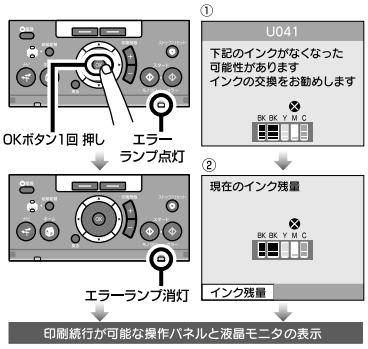
赤ランプ点滅

❷つめかえた後の印刷続行

つめかえたインクタンクをプリンタに取り付けた後、操作パネルのエラーランプが点灯していて、液晶モニター表示が（①）のインクがなくなった時と変わっていない場合は、操作パネルのOKボタンを1回押してください。エラーランプが消え、液晶モニターが②の表示となり印刷続行が可能となります。

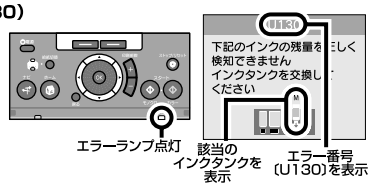
※①の液晶モニターには（×）が表示されたままですが、OKボタンの操作によりエラーが解消されたので、印刷が続行できます。

※はじめから操作パネルのエラーランプが消えていて、液晶モニター表示も①となっている場合はボタン操作の必要はありません。



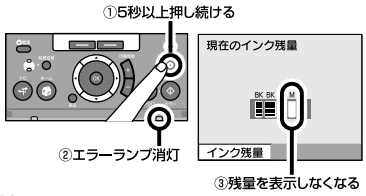
❸インク残量検知機能エラーの表示（U130）

印刷続行が可能となった後に、液晶モニターに右のようなメッセージとエラーが表示され、操作パネルのエラーランプが点灯していましたら、次の「❹インク残量検知機能を無効にする操作」を行ってください。



❹インク残量検知機能を無効にする操作

①ストップ/リセットボタンを5秒以上押し続けてください。
②自動的にエラーランプが消え、表示されたインクタンクのインク残量検知機能が無効となります。
③操作を行ったインクタンクの残量が表示されなくなります。



※キヤノンMP600でBCI-7eMを使用時の操作例です。

●iPシリーズ説明は裏面です。

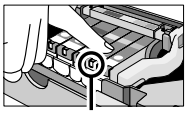
iPシリーズ説明①

iP4200・iP7500・iP6600D・iP5200R・iX5000・Pro9000

基本的にパソコン画面のエラーメッセージ表示とステータスモニターの表示を見て、
プリンタ本体のボタンを操作します。

❶つめかえたインクタンクをプリンタに取り付ける

つめかえたインクタンクを取り付けても、赤ランプは点滅したままです。
（インク残量検知機能を無効にするまでは、点滅状態が続きます。）

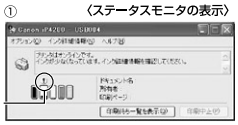


赤ランプ点滅

❷つめかえた後の印刷続行

①インクをつめかえたカートリッジをプリンタに戻すと、ステータスモニターのカートリッジ表示が（!）マークとなり、印刷が続行できるようになります。

①　〈ステータスモニタの表示〉



（！）の表示

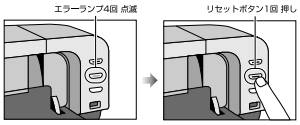
②印刷中または印刷開始前にプリンタが停止し、操作パネルのエラーランプが4回点滅していて、ステータスモニターのカートリッジの表示が（×）マークとなりましたら、リセットボタンを1回押してください。

①の表示に戻り、印刷が続行または開始されます。

②　〈エラーメッセージの表示〉

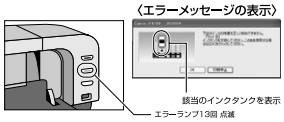
（×）の表示

①から②の状況は3回ほど繰り返されます。その後、❸インク残量検知機能エラーが表示されます。



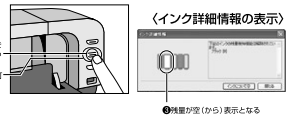
❸インク残量検知機能エラーの表示（エラーランプ13回点滅）

印刷続行の操作後にプリンタが停止し、パソコンの画面にエラーメッセージが表示され、操作パネルのエラーランプが13回点滅しましたら、次の「❹インク残量検知機能を無効にする操作」を行ってください。



❹インク残量検知機能を無効にする操作

①リセットボタンを5秒以上押し続けてください。
②自動的にエラーランプが消え、表示されたインクタンクのインク残量検知機能が無効となります。
③操作を行ったインクタンクの残量が表示されなくなります。



※キヤノンiP4200でBCI-9BKを使用時の操作例です。

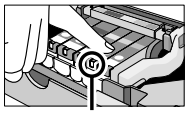
iPシリーズ説明②

iP4500・iP4300・iP3500・iP3300

基本的にパソコン画面のエラーメッセージ表示とステータスモニターの表示を見て、
プリンタ本体のボタンを操作します。

❶つめかえたインクタンクをプリンタに取り付ける

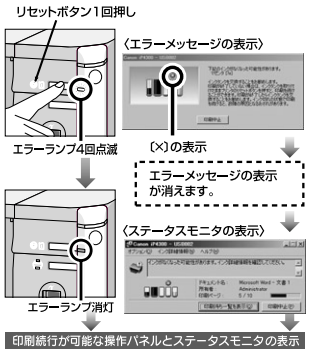
つめかえたインクタンクを取り付けても、赤ランプは点滅したままです。
（インク残量検知機能を無効にするまでは、点滅状態が続きます。）



赤ランプ点滅

❷つめかえた後の印刷続行

つめかえたインクタンクをプリンタに取り付けた後、操作パネルのエラーランプが4回点滅していて、エラーメッセージの表示も変わっていない場合は、操作パネルのリセットボタンを1回押してください。
エラーランプが消え、パソコンの画面にはエラーメッセージの表示が消え、ステータスモニターの表示のみとなり、印刷続行が可能となります。

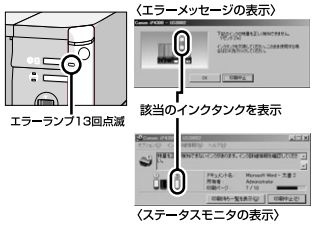


※はじめから操作パネルのエラーランプが消えていて、エラーメッセージが現れない場合はボタン操作の必要はありません。

※印刷中のステータスモニターには（×）が表示されたままとなりますが、リセットボタンを操作したことによりエラーが解消されたので、印刷が続行できます。

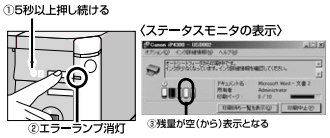
❸インク残量検知機能エラーの表示（エラーランプ13回点滅）

印刷続行の操作後にプリンタが停止し、パソコンの画面にエラーメッセージとステータスモニターが表示され、操作パネルのエラーランプが13回点滅しましたら、次の「❹インク残量検知機能を無効にする操作」を行ってください。



❹インク残量検知機能を無効にする操作

①リセットボタンを5秒以上押し続けてください。
②自動的にエラーランプが消え、表示されたインクタンクのインク残量検知機能が無効となります。
③操作を行ったインクタンクの残量が表示されなくなります。



※ キヤノンiP4300 でBCI-7eM インクタンクを使用時の操作例です。

MEMO

※つめかえインクを使用したカートリッジを使ったプリンタは、メーカーによっては不正改造に当たると判断される場合があります。
不具合が発生した場合まず弊社にご連絡ください。

サンワサプライ
つめかえインク サポートセンター
tel:076-274-0707　受付時間：月～金（土・日・祝日をのぞく）　9:00～12:00　13:00～18:00
inksupport@sanwa.co.jp

岡山サプライセンター　岡山市田町1・10・1 tel:086-223-3311
東京サプライセンター　東京都品川区南大井6-5-8 tel:03-5763-0011
www.sanwa.co.jp

07/10/MYDaKi